

資料 2

第3期燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン (令和7年度) 連携事業進捗状況

令和7年11月

燕市・弥彦村

目 次

I 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組	3
2 具体的取組の全体像	4

II 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況

1 進捗状況一覧	5
2 具体的な取り組み	
・病児・病後児保育事業	6
・新潟大学寄附講座事業	8
・高齢者見守りネットワーク構築・運用事業	9
・県央地域医師確保事業	10
・看護職員修学資金貸付事業	11
・介護人材定着促進事業	12
・観光エリア魅力アップ促進事業	
【首都圏等観光PR事業】	13
【産業観光ナビゲート事業】	14
【観光協会運営支援事業】	15
【二次交通整備事業】	16
【観光複合施設運営管理事業】	17
【情報発信事業】	18
・コミュニティバス運行事業	20
・予約制乗合ワゴン車運行事業	21
・職員合同研修事業	22
・外部人材活用事業	23

I 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組

○生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療・福祉

① 地域医療・福祉の環境整備（6事業）

- 病児・病後児保育事業
- 新潟大学寄附講座事業
- 高齢者見守り検索ネットワーク構築・運用事業
- 県央地域医師確保事業
- 看護職員修学資金貸付事業
- 介護人材定着促進事業

(2) 産業振興

① 広域観光の促進（1事業）

- 観光エリア魅力アップ促進事業（細事業6事業）
 - ・首都圏等観光PR事業
 - ・産業観光ナビゲート事業
 - ・観光協会運営支援事業
 - ・二次交通整備事業
 - ・観光複合施設運営管理事業
 - ・情報発信ツール活用事業

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通ネットワークの構築（2事業）

- コミュニティバス運行事業
- 予約制乗合ワゴン車運行事業

○圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

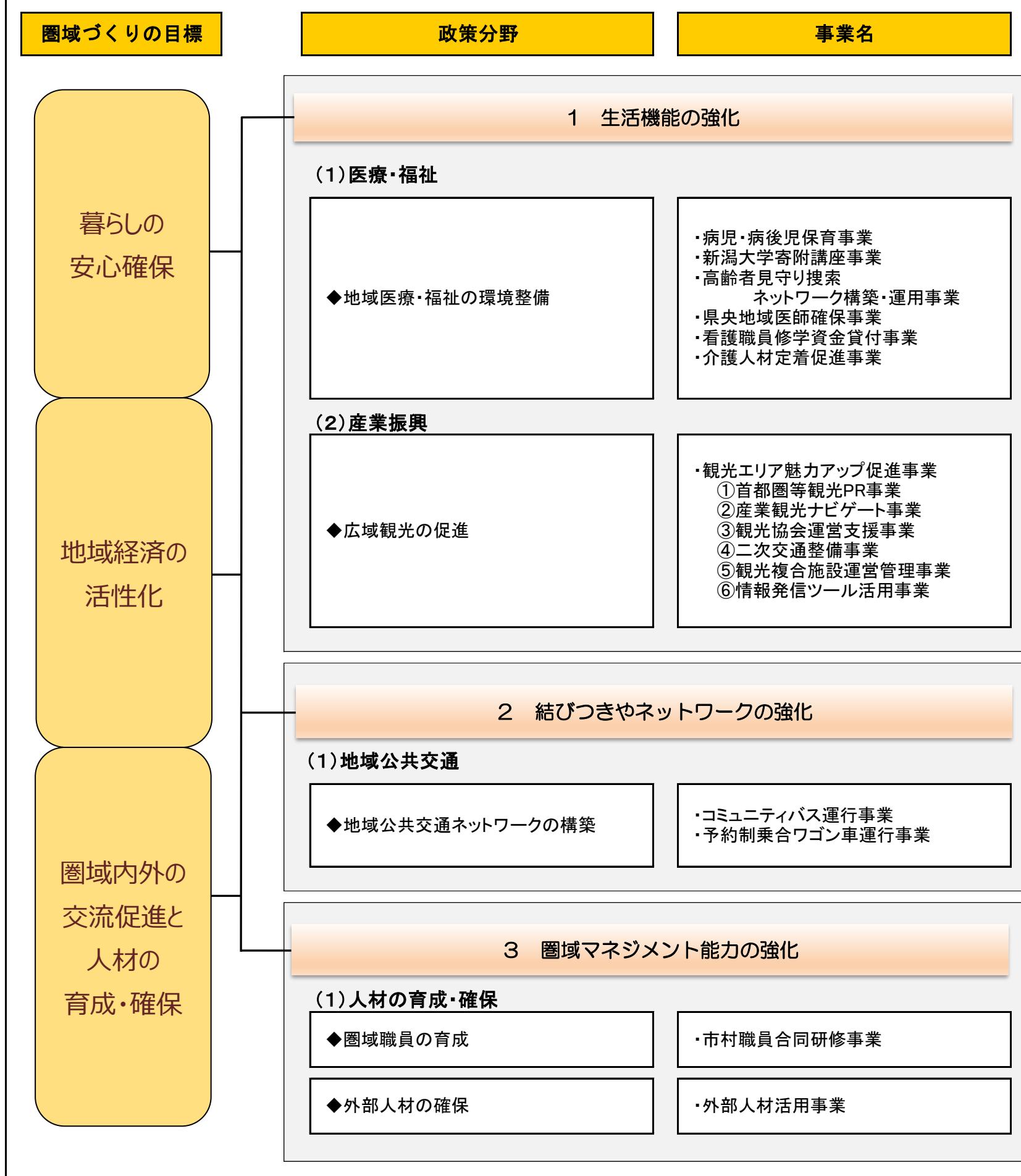
① 圏域職員の育成（1事業）

- 職員合同研修事業

② 外部人材の確保（1事業）

- 外部人材活用事業

全体像



II 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状

1 進捗状況一覧（全16事業）

各事業について、圏域の実情を踏まえながら実施した年度内の取り組みの進捗状況を4段階で評価しています。（4段階評価：順調、概ね順調、やや遅れている、遅れている）

■順調（10）

政策分野		事業名
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	新潟大学寄附講座事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	県央地域医師確保事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	看護職員修学資金貸付事業
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【首都圏等観光PR事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光複合施設運営管理事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【情報発信ツール活用事業】
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	コミュニティバス運行事業
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	予約制乗合ワゴン車運行事業
人材育成	圏域職員の育成	職員合同研修事業
人材育成	外部人材の確保	外部人材活用事業

■概ね順調（5）

政策分野		事業名
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	病児・病後児保育事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	高齢者見守りネットワーク構築・運用事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	介護人材定着促進事業
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【産業観光ナビゲート事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光協会運営支援事業】

■やや遅れている（1）

政策分野		事業名
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業（二次交通整備事業）

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

医療・福祉 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	病児・病後児保育事業																																																																				
事業内容	保護者の子育てと就労の両立を支援するため、児童が病気の治療中又は回復期にあり、保育園等での集団保育が困難で、かつ、保護者のやむを得ない事情により家庭で保育が困難な場合に、その児童を専用施設（病児保育室「あおぞら」および病児・病後児保育ルーム「なでしこぽかぽか」）で一時的に預かる。																																																																				
期待される効果	圏域の保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が図られる。																																																																				
実施状況 (R7.9末時点)	<p>＜事業概要＞</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）</td> </tr> <tr> <td>対象児童</td> <td>燕市または弥彦村に居住する生後6ヶ月から小学6年生までの子ども</td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>開設日時</td> <td>月曜日から金曜日の8時から18時まで（年末年始・祝日を除く） (早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時)</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除</td> </tr> <tr> <td colspan="2">病児・病後児保育ルーム「なでしこぽかぽか」（県央基幹病院併設）</td> </tr> <tr> <td>対象児童</td> <td>燕市に居住するまたは保護者が燕市内の事業所等に勤務する生後6ヶ月から小学6年生までの子ども</td> </tr> <tr> <td>開設日</td> <td>月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）</td> </tr> <tr> <td>開設日時</td> <td>月曜日から金曜日の8時30分から17時30分まで（年末年始・祝日を除く）</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>4時間以上2,000円、4時間以内1,000円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除</td> </tr> </table> <p>＜利用者数及び登録状況＞ (単位：人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>燕市 530</td> <td>252</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>弥彦村 35</td> <td>43</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>565</td> <td>295</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>登録状況</td> <td>登録者数 1,965</td> <td>1,774</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>登録率 30.7%</td> <td>29.4%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用者数は病児保育室「あおぞら」における燕市民（在勤含む）、弥彦村の数値 ※登録率は毎年4/1時点の燕市における年齢別人口に占める0～12歳の登録者数の割合</p>							病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）		対象児童	燕市または弥彦村に居住する生後6ヶ月から小学6年生までの子ども	利用定員	8人	開設日時	月曜日から金曜日の8時から18時まで（年末年始・祝日を除く） (早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時)	利用料	1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除	病児・病後児保育ルーム「なでしこぽかぽか」（県央基幹病院併設）		対象児童	燕市に居住するまたは保護者が燕市内の事業所等に勤務する生後6ヶ月から小学6年生までの子ども	開設日	月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）	開設日時	月曜日から金曜日の8時30分から17時30分まで（年末年始・祝日を除く）	利用料	4時間以上2,000円、4時間以内1,000円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除		R6	R7	R8	R9	R10	R11	利用者数	燕市 530	252	-	-	-	-		弥彦村 35	43	-	-	-	-	計	565	295	-	-	-	-	登録状況	登録者数 1,965	1,774	-	-	-	-		登録率 30.7%	29.4%	-	-	-	-
病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）																																																																					
対象児童	燕市または弥彦村に居住する生後6ヶ月から小学6年生までの子ども																																																																				
利用定員	8人																																																																				
開設日時	月曜日から金曜日の8時から18時まで（年末年始・祝日を除く） (早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時)																																																																				
利用料	1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除																																																																				
病児・病後児保育ルーム「なでしこぽかぽか」（県央基幹病院併設）																																																																					
対象児童	燕市に居住するまたは保護者が燕市内の事業所等に勤務する生後6ヶ月から小学6年生までの子ども																																																																				
開設日	月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）																																																																				
開設日時	月曜日から金曜日の8時30分から17時30分まで（年末年始・祝日を除く）																																																																				
利用料	4時間以上2,000円、4時間以内1,000円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除																																																																				
	R6	R7	R8	R9	R10	R11																																																															
利用者数	燕市 530	252	-	-	-	-																																																															
	弥彦村 35	43	-	-	-	-																																																															
計	565	295	-	-	-	-																																																															
登録状況	登録者数 1,965	1,774	-	-	-	-																																																															
	登録率 30.7%	29.4%	-	-	-	-																																																															
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 登録率は微減であるが、利用者数は順調に増加している。特に弥彦村民の利用が増え、昨年度を上回る状況となっている。引き続き、施設の安定した運営のサポートを継続し、保護者の子育てと就労の両立と、安心して子育てできる環境の充実を図っていく。																																																																				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	→																																																															

事業費見込 (単位：千円)	26,617	29,000	29,000	29,000	29,000
特定財源等	10,329	10,000	10,000	10,000	10,000
一般財源	16,288	19,000	19,000	19,000	19,000
特定財源等の 名称	子ども・子育て支援交付金				
役割分担の 考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (R6.4.1)	前年度実績 (R6)	最新値 (R7.4月末)	評価	目標値 (R11)
病児・病後児保育の 登録率	30.0%	30.7%	29.4%	○	30.0%

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野
医療・福祉 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	新潟大学寄附講座事業				
事業内容	県央医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区を構築するため、新潟大学に設置した寄附講座により、消化器疾患対策の研究を新潟大学及び吉田病院を拠点として実施する。				関係市村
期待される効果	次世代検診モデルの構築による消化器疾患の早期発見、早期治療対策の研究による地域の検診体制の強化が図られる。				
実施状況 (R7.9末時点)	<p>新潟大学が県立吉田病院の消化器内視鏡センターに医師を派遣し、診療及び以下のことを実施する。</p> <p>【慢性疾患の早期発見、早期治療対策】 燕市の集団による特定健診等受診者のうち、同意が取れた人の血液検査データに、現状では健診項目でない肝線維化の程度を確認するFIB-4インデックスも加え、受診勧奨レベルの研究を継続実施する。</p> <p>【胃がん・大腸がんの早期発見・早期治療に関する情報提供】</p> <p>①健康づくり講座を実施 演題 病気の危険信号 知らないといかんぞう（胃肝臓） ～知って守る自分の健康～ 日時 令和7年8月29日（金） 13：30～15：00 会場 吉田産業会館 参加者 134人</p> <p>②R5に大腸がんと生活習慣病の関係や精密検査の必要性に関する動画を県立吉田病院と協同で作成。R7の大腸がん検診の受診票発想や結果通知時に動画視聴できる二次元コードを同封し、周知を継続予定。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p><input checked="" type="checkbox"/>順調 <input type="checkbox"/>概ね順調 <input type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <p>圏域住民の健康意識を高める事業の実施と寄附講座における研究への協力により、新潟大学が県立吉田病院の消化器内視鏡センターに医師を派遣している。これにより、消化器内科医の確保につながり、安定した医療体制が構築されている。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位:千円)	7,480	7,480	7,480		
特定財源等	-	-	-		
一般財源	7,480	7,480	7,480		
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

*事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (R5)	昨年度実績 (R6)	最新値 (R7.9月末)	評価	目標値 (R11)
県立吉田病院 消化器内科医師数	4人	5人	5人	◎	4人

*達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

医療・福祉 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	高齢者見守りネットワーク構築・運用事業				
事業内容	認知症のある高齢者が行方不明となった際に、早期検索による早期発見につなげるため、圏域のメール配信システム等を活用して住民や事業所に行方不明者の特徴などを発信・共有することで、広く検索の協力を呼びかける。				関係市村
期待される効果	広域的な情報発信・情報共有による協力体制が構築され、行方不明時の検索範囲が拡大することで早期発見が期待できる。				
実施状況 (R7.9月末時点)	認知症のある高齢者の早期発見につながる新たなシステムの導入について検討を行った。アプリやステッカーを活用するシステムの導入に関して市村で協議を重ねたが、費用対効果や迅速な情報発信の観点から効果が限定的であると判断し、導入は見送ることとした。加えて、燕市公式LINEを活用した情報発信についても検討を行った。				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 令和7年6月より、燕市公式LINEの登録者に対し、認知症等行方不明者の情報発信を開始し、あわせて弥彦村の行方不明者情報の発信も可能としている。 今後も引き続き、活用可能なアプリや新たなシステムの導入について検討していく。				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位:千円)	66	66	66	66	66
特定財源等	51	51	51	51	51
一般財源	15	15	15	15	15
特定財源等の名称	地域支援事業交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

*事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (R5)	前年度実績 (R6)	最新値 (R7.9月末)	評価	目標値 (R11)
高齢者見守り検索ネットワークの構築数	-	-	0システム	○	1システム

*達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

医療・福祉 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	県央地域医師確保事業				
事業内容	将来県央医療圏において医師として地域医療を担おうとする医学生に、医学部卒業後の一定期間、済生会新潟県央基幹病院および県立吉田病院に勤務することで返還が免除となる修学資金の貸与を行い、県央圏域の医師不足の解消を図る。				
期待される効果	県央医療圏における医師の確保が図られ、圏域の医療体制の維持・充実につながる。				
実施状況 (R7.9月末時点)	<p>医学部の受験者確保と医師不足が顕著な市町村の医師確保を促進するため、県と市町村が連携して医師養成修学資金を貸与するとともに、貸与を受けた医学生が地域枠卒業後の一定期間、医師として当該市町村に所在する病院（済生会新潟県央基幹病院、県立吉田病院）で勤務するもの。</p> <p>【修学資金】 6年間：15,000千円（1年目：3,000千円、2～6年目：2,400千円） 【勤務期間】 9年間とし、修学資金を負担した市町村に所在する病院に5年間勤務する</p> <p>【診療科】内科・外科・総合診療科・小児科</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p>■順調 □概ね順調 □やや遅れている □大幅に遅れている</p> <p>新潟県地域枠で、獨協医科大学の学生1名に修学資金の貸与を行っている。今後、対象学生に対して、ウェブでの面談（自治体、病院の紹介）や、実際に来県してもらい自治体や病院での実習を行う予定となっている。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	3,000	2,400	2,400	2,400	2,400
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	3,000	2,400	2,400	2,400	2,400
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれが費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (R6)	前年度実績 (R6)	最新値 (R7.9月末)	評価	目標値 (R11)
医師養成修学資金貸与者数	-	-	1人	◎	1人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

医療・福祉 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	看護職員修学資金貸付事業				
事業内容	看護師等を養成する学校又は養成所に在籍し、将来県央医療圏において看護職員として業務に従事しようとする者に対し、市村が指定する医療施設に継続勤務した場合に返還が免除となる修学資金の貸与を行い、県央圏域の看護師不足の解消と人材の地元定着を図る。				
期待される効果	県央医療圏における看護職員の確保及び人材の地元定着が図られ、圏域の医療体制の維持・充実につながる。				
実施状況 (R7. 9月末時点)	<p>将来県央医療圏において看護職員として業務に従事しようとする人に對し、修学資金の貸与を行っている。 令和7年度の新規貸付者については令和7年2月17日～4月9日を受付期間とし、養成学校への周知とともに広報やHPを活用し募集を開始。</p> <p>【令和7年度貸与状況（燕市）】 「新規貸付者」…11名（月額5万円×11名） 貸与金額：6,600千円 「継続貸付者」…19名（月額5万円×18名） （月額4万円×1名） 貸与金額：11,280千円</p> <p>【令和7年度貸与状況（弥彦村）】 「新規貸付者」…1名（月額5万円×1名） 貸与金額：600千円 「継続貸付者」…1名（月額5万円×1名） 貸与金額：600千円</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p><input checked="" type="checkbox"/>順調 <input type="checkbox"/>概ね順調 <input type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <p>当事業については広報や学校関係への周知により、目標値を超える貸与者数となった。就職先についても現在12名が指定医療機関へ就職しており、順調な進みとなっている。 当事業は条例で定められており、条例が令和8年3月31日限りで失効することから、事業継続のため条例改正を考えている。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	19,106	13,800	7,200	1,200	0
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	19,106	13,800	7,200	1,200	0
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれが費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (R5)	前年度実績 (R6)	最新値 (R7. 9月末)	評価	目標値 (R10)
看護職員修学資金貸与者数 (延べ人数累計)	34人	44人	56人	◎	55人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

医療・福祉 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	介護人材定着促進事業				
事業内容	介護人材を確保するため、介護資格の取得経費や研修受講費の一部を助成する。 介護職員が自信と意欲をもって働き続けることができるよう、介護業務に精励する職員を表彰するとともに、介護職のやりがいと魅力を広く圏域の住民へ発信する。			関係市村	
期待される効果	介護職員が資格を取得することや表彰を受けることで、自信とやりがいを持てる職場環境が形成され、職員の離職予防や定着促進につながり、圏域における高齢者が介護サービスを安定的に利用できる。				
実施状況 (R7.9月末時点)	【介護職員研修費助成事業助成金】 事業所宛に制度周知のメールを一斉送信し、申請を勧奨した。 ①介護職員初任者研修（ヘルパー2級） 研修費用の1／2補助、上限7万円 申請者数：2名 ②介護職員実務者研修（ヘルパー1級） 研修費用の1／2補助、上限8万円 申請者数：4名 ③介護職員喀痰吸引等研修 研修費用の1／2、上限4万円 申請者数：11名 ④介護福祉士資格取得 登録費用の10／10、上限1万円 申請者数：0名 ※いずれも9月末時点の申請者数				
進捗状況 (反省点・改善点)	【燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰】 燕市・弥彦村圏域の介護施設に10年以上勤務している介護職員等に、日ごろの感謝を込め表彰する「燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰式」を11月に実施する予定で現在準備を進めている。				
実施スケジュール	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている				
事業費見込 (単位：千円)	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
特定財源等	1,366	1,366	1,366	1,366	1,366
一般財源	1,366	1,366	1,366	1,366	1,366
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (R5)	前年度実績 (R6)	最新値 (R7.9月末)	評価	目標値 (R11)
介護人材育成事業補助金助成者数（延べ人数累計）	323人	344人	361人	○	500人

※達成状況は3段階で評価（○：目標値を達成、△：目標値に向かって順調、△：遅れている）

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

産業振興 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（首都圏等観光PR事業）				
事業内容	<p>圏域の観光の魅力を発信するため、首都圏を中心としたイベント出展やメディアのパブリシティ活動、交通媒体等に対する観光PR活動を行う。</p> <p>圏域への誘客を増加させるため、マスコミや旅行会社等に対するモニターツアーを実施する。</p> <p>インバウンド需要を取り込むため、台湾を中心とした現地プロモーション等を行う。</p>			関係市村	
期待される効果	<p>マスコミや旅行関係者に圏域の観光資源を直接PRすることで、新たな旅行商品が造成され、首都圏からの誘客増加や新たな客層の発掘が期待できる。</p>				
実施状況 (R7.9末時点)	<p>①産業観光ツアー造成支援事業 産業観光施設及びに燕市及び弥彦村の立ち寄り施設を各1個以上取り入れた募集型企画旅行を催行する旅行事業者に対し補助。 ※申請件数15件（国内13件 訪日2件） ※R7.9.30現在</p> <p>②インバウンドプロモーション事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 台湾および香港からの誘客促進を図ることを目的に現地でのセールスコールを令和8年2月に実施予定。 台湾向けプロモーション <ul style="list-style-type: none"> 11月19日～20日の2日間、台湾インフルエンサーを招聘し、体験した当地域の情報をSNS等で発信し、旅行検討層に届ける。 台湾で最も影響力がある旅行業界誌「TTN旅報」への掲載を行い、台湾旅行事業者へアプローチし、誘客を図る。 香港メディアを活用した観光PR 香港の現地メディアにて、当地域の観光コンテンツを放映し、一般消費者への訴求を図る。（令和8年1月下旬放映予定） <p>③観光イベント・商談会への出展 ※R7.9.30時点</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光イベント 7回（イオンレイクタウン、東京駅、川崎駅等） 商談会 4回 <p>④佐渡島金山世界遺産登録キャンペーン事業 佐渡島旅行者を当地域へ誘導することを目的として観光タクシーの割引キャンペーンを実施予定。</p> <p>⑤ポスター・パンフレット等広告掲出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 高速道路SA（上里、赤城高原）や県内観光施設等でパンフレット設置。 NST番組「北信越福島行楽マップ2025」にて行楽スポットを紹介。 				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p><input checked="" type="checkbox"/>順調 <input type="checkbox"/>概ね順調 <input type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <p>産業観光ツアー造成支援事業の訪日ツアーにおいて、R7.9.30時点で2件（R6年度0件）の申請に留まっているため、旅行社への情報提供を引き続き行っていく。</p> <p>なお、訪日ツアー2件のうち1件は、昨年度台湾セールスコールで訪問した旅行社からの申請であったため、今年度も令和8年2月実施予定のセールスコールでPRを行い、次年度への誘客につなげる。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
特定財源等	3,500	3,500	3,500	3,500	2,750
一般財源	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
特定財源等の名称	新しい地方経済・生活環境創生交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

産業振興 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（産業観光ナビゲート事業）				
事業内容	観光客や団体視察などの受入をスムーズに行うため、産業観光ナビゲーターが受入企業の調整・案内を行う。また、圏域の魅力を各日に伝えられるよう人材を育成する。				
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施状況 (R7.9末時点)	①観光ナビゲーターの活用 【実施状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・燕市観光協会で観光ナビゲーターを3名採用 ・観光案内業務 ・修学旅行や企業視察のコース提案及びオペレーションを実施 ※産業観光視察受入実績 R7.9.30時点 161本 3,653人 ②新たな観光資源の発掘や体験型観光の企画開発 【実施状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の企画開発 ・自然、産業観光が連携した新たな観光資源の発掘 				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている ①観光ナビゲーターの活用 産業観光視察受入については昨年度並みで、概ね順調に進捗している。 ②新たな観光資源の発掘や体験型観光の企画開発 増加傾向にあるインバウンドに対応するためにも地域関係者との連携が必要と思われる。				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	14,302	14,302	14,302	14,302	14,302
特定財源等	6,395	6,395	6,395	6,395	6,395
一般財源	7,907	7,907	7,907	7,907	7,907
特定財源等の名称	新しい地方経済・生活環境創生交付金				
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

産業振興 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光協会運営支援事業）				
事業内容	圏域の観光客誘致を効果的に実施するため、燕市と弥彦村の観光に係るイベントや観光情報の発信を担う観光協会の運営事業を支援する。			関係市村	
期待される効果	圏域の観光の魅力を継続的に情報発信することで、観光客が圏域を訪れる契機となったり、リピーター率の増加が図られるなど、交流・応援人口の拡大が期待できる。				
実施状況 (R7.9末時点)	<p>●(一社)燕市観光協会</p> <p>【1. 観光イベント開催業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つばめ桜まつり 3月21日(土)～4月20日(日)を桜まつり期間として、桜のライトアップやイベントを市内各所で開催。 <u>「第80回分水おいらん道中」4月13日(日) 来場者数：約21,000人</u> ・第20回越後くがみ山酒呑童子行列 <u>来場者数：4,320人</u> 9月の1カ月間を鬼まつり期間として協力施設・店舗においてイベントを開催。9月28日(日)には、元プロレスラー小橋建太さんをゲストに迎え、酒呑童子として行列に参加いただいたほか、各団体によるステージイベントで大いに盛り上がった。 <p>【2. 観光プロモーション事業】</p> <p>現在、観光協会のホームページを改修中。機能性やデザイン性などをグレードアップすることで、更なる燕市の魅力の情報発信とファンづくり・誘客促進を図る。</p> <p>●(一社)弥彦観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第39回 弥彦湯かけまつり 4月6日(日) 会場 弥彦駅～彌彦神社 <u>来場者数：20,000人</u> 当日は曇り空の元、桜もつぼみ状態ではあったが人出は多かった。 ・やひこマルシェ2025春 3月29日(土)～4月13日(日) 会場 ヤホール及びおもてなし広場テラス 弥彦公園の桜ライトアップと併せて開催。 ・GFGS -Car Life In Yahiko vol.3- /4月26日(土)・27日(日) 会場 ヤホール /<u>来場者数：3,000人</u> クルマと食とカルチャーが融合した新しい形のカーイベント。 ・第2回 うまいもんフェアin弥彦 5月30日(金)～6月1日(日) 会場 ヤホール <u>来場者数：10,000人</u> 昨年に引き続き全国の旨いものを一堂に集めた食のイベント。 ・弥彦村えだまめまつり (主催 弥彦村えだまめまつり実行委員会) 8月23日(土) 会場 ヤホール <u>来場者数：3,000人</u> 弥彦村の特産品である「枝豆」をさらにPRするイベント。 				
進捗状況 (反省点・改善点)	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている イベントを継続して行くうえで、地域や関係団体との連携のあり方にについて検討が必要である。				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	60,826	60,826	60,826	60,826	60,826
特定財源等	11,689	11,689	11,689	11,689	11,689
一般財源	49,137	49,137	49,137	49,137	49,137
特定財源等の名称	新しい地方経済・生活環境創生交付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体的額を定めます。

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

産業振興 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（二次交通整備事業）				
事業内容	観光客が利用する交通手段の利便性向上を図るため、JR 燕三条駅や弥彦温泉から出発する二次交通を整備する。				関係市村
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、圏域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施状況 (R7. 9末時点)	<p>燕市や弥彦村を中心とした観光地を巡る日帰りタクシープラン「燕・弥彦を観光タクシーでめぐる旅」の運行</p> <p>【事業内容】 運行日：R7. 4上旬～R8. 2下旬 ※コースによって運行日が異なります。 料 金：5,000円(新潟ワインコースのみ5,500円)</p> <p>1. 実施状況(R7. 9. 30実績) 利用人数77人</p> <p>2. パンフレットの活用 観光タクシーの日本語、英語版、繁体字版のデジタルパンフレットを作成し、中越交通ホームページや観光協会ホームページにて公開。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p><input type="checkbox"/>順調 <input type="checkbox"/>概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次交通の利便性向上のため、引き続き積極的にPRしていく。 ・一部コースの立ち寄り先や内容等の見直しにより、より魅力的なコースにすることで、利用客増加になるよう努めていく。 				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

産業振興 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光複合施設運営管理事業）				
事業内容	複合的な誘客施設である「道の駅国上」や「おもてなし広場」等において、圏域を訪れる契機となるよう、地場農産物等のPR拡充と販売促進を積極的かつ効果的に行う。				関係市村 燕市 弥彦村
期待される効果	施設の魅力を向上させることにより、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R7.9月末時点)	<p>【道の駅SORAIRO国上】</p> <ul style="list-style-type: none"> R4年7月のリニューアルオープン以降、来館者数・売り上げとともに順調に推移している。「自然と遊ぶ道の駅」をコンセプトに、オートキャンプ場やドッグラン等を整備して自然観光の交流拠点として機能している。 R6年度から道の駅隣接地を道の駅駐車場及び良寛史料館移転地として整備工事を実施。R7年秋に、山側半分を駐車場として暫定供用開始予定。 R7年度についても週末等にイベントを開催して誘客を図り、前年度を上回る来場者数、売上額になっている。 <p>【R7年4月～R7年9月末実績】</p> <p>来場者数：412,537人 前年度同期391,164人（前年同期比105%） 売上額：284,744,466円 前年同期246,663,944円（前年同期比115%）</p> <p>【おもてなし広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来場者数は天候の関係もあり昨年度に比較すると減少している。 売上額については、飲食店が軒並み前年度を上回っており、全体としては過去最高の売上となっている。 <p>(R7年4月～R7年9月末実績)</p> <p>来場者数 70,690人 前年同期 73,049人（前年度比96.8%） 売上額 97,722,463円 前年同期 94,924,163円（前年度比102.9%）</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p><input checked="" type="checkbox"/>順調 <input type="checkbox"/>概ね順調 <input type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <p>進捗は順調であるが、道の駅国上については休日やイベント開催時に駐車場が不足している。R7年秋には隣接地駐車場が暫定供用となるため、駐車場不足は解消される見込みである。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	28,006	28,006	28,006	28,006	28,006
特定財源等	10,654	10,654	10,654	10,654	10,654
一般財源	17,352	17,352	17,352	17,352	17,352
特定財源等の名称	新しい地方経済・生活環境創生交付金 指定管理者納付金				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○生活機能の強化に係る政策分野

産業振興 - 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（情報発信ツール活用事業）				
事業内容	圏域の魅力を効果的に発信していくため、観光パンフレットやプロモーション動画等を作成する。				関係市村
期待される効果	圏域の魅力を情報発信することで、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R7.9末時点)	<p>①燕市・弥彦村観光PRマップの活用 燕・弥彦広域観光連携会議でR2年度から作成している「燕と弥彦ぐるぐるマップ」について、日本語版を30,000増刷。</p> <p>②デジタルMAPの活用 「燕と弥彦ぐるぐるMAP」と連動したデジタルMAPを活用し、旅行中のスマートフォンでの検索の利便性を向上を図ります。</p> <p>③ショート動画の作成 当地域の特性（食、物産、風景等）を紹介したショート動画を作成し、広く情報を発信します。</p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p><input type="checkbox"/>順調 <input checked="" type="checkbox"/>概ね順調 <input type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <p>パンフレットの設置だけでなく、ショート動画をデジタルサイネージとして掲出することで、当地域の認知度の向上及び誘客促進を図っていく。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標(KPI)】

指標	基準値 (R5)	昨年度実績 (R6)	最新値 (R7. 9月末)	評価	目標値 (R11)
燕市および弥彦村の観光入込客数 (暦年)	3, 634, 548人	3, 590, 823人	2, 915, 906人	○	3, 998, 000人
二次交通整備事業の利用人数	87人	144人	77人	△	267人
道の駅国上・おもてなし広場来館者数	780, 683人	847, 464人	483, 327人	○	923, 000人
弥彦温泉における宿泊数 (暦年)	66, 590泊	63, 632泊	41, 242泊	○	73, 200泊
産業観光視察受入人数(燕市観光協会経由分)	7, 510人	7, 447人	3, 653人	○	8, 200人

※達成状況は3段階で評価 (○:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

地域公共交通 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	コミュニティバス運行事業				
事業内容	圏域住民の生活に密接なバス路線の運行を維持し、利便性の向上を図るため、圏域の主要駅や病院等を経由するバスを運行する。また、圏域の公共交通の維持・確保に向けて燕・弥彦地域公共交通会議を開催し、課題解決のための検討を行う。				関係市村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況 (R7.9末時点)	<p>燕市循環バス「スワロー号」、弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」、燕市コミュニティバス実証運行をそれぞれ運行している。県央基幹病院の開院（令和6年3月）を契機にスワロー号の増便、時刻表の改正などを実施し、乗降者数の増加が続いている。</p> <p>【利用料金】 100円/回 (小学生以下無料) (みこぴょん号は無料)</p> <p>【利用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スワロー号 乗車人数 18,479人 (149人/日) (昨年度同月比 +3,166人 (+25人/日)) ・やひこ号 乗車人数 9,485人 (76人/日) (昨年度同月比 +1,066人 (+8人/日)) ・燕市コミュニティバス実証運行 乗車人数 2,977人 (24人/日) (昨年度同月比 +0人 (±0人/日)) ・(※)自動運転バスみこぴょん号 (平成6年2月～運行) 乗車人数 1,791人 (13人/日) (昨年度同月比 +1,403人 (+8人/日)) <p><u>※構想策定時には運行していなかったため、実績値には含まない</u></p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p><input checked="" type="checkbox"/>順調 <input type="checkbox"/>概ね順調 <input type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <p>ダイヤの変更から時間が経過し、利用者数が安定してきたためか、増加傾向が続いている。利用者数の増加が著しい停留所の利用分析などを実施し、更なる利用者の増加に繋げていきたい。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位：千円)	112,322	112,322	112,322	112,322	112,322
特定財源等	95,609	95,609	95,609	95,609	95,609
一般財源	16,713	16,713	16,713	16,713	16,713
特定財源等の名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体的額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (R5)	前年度実績 (R6)	最新値 (R7.9月末)	評価	目標値 (R11)
コミュニティバスの1日あたりの利用者数	195人	223人	249人	◎	195人

※達成状況は3段階で評価（◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている）

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

地域公共交通 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	予約制乗合ワゴン車運行事業				
事業内容	高齢者をはじめとする圏域住民の通院・通学や買い物などの生活活動を支えるとともに、公共交通空白地域の解消を図るために、予約制乗合ワゴン車を運行する。また、圏域の公共交通の維持・確保に向けて燕・弥彦地域公共交通会議を開催し、課題解決のための検討を行う。				関係市村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況(R7.9末時点)	<p>市内を西エリア・東エリアに分けて展開しており、7時から17時まで1時間ごとに10便（13時便はない）を各時間6台ずつで運行している。 燕市・弥彦村全域を運行エリアとし、乗り場、行先を指定できるドアツードアの交通サービスである。</p> <p>【利用料金】 大人（中学生以上）300円/回、小学生 100円/回、未就学児 無料</p> <p>【利用状況】 17,996人（145人/日） （昨年度同月比 -4人（±0人/日））</p>				
進捗状況(反省点・改善点)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている 9時から12時、14時から16時と需要の多い時間帯はフル稼働しているため、現行の形態では利用者の大幅な増加は見込めないが、朝、夕方と予約状況に余裕のある時間帯に集客が見込めるものと考えている。				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込(単位：千円)	58,346	58,346	58,346	58,346	58,346
特定財源等	47,876	47,876	47,876	47,876	47,876
一般財源	10,470	10,470	10,470	10,470	10,470
特定財源等の名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (R5)	前年度実績 (R6)	最新値 (R7.9月末)	評価	目標値 (R11)
予約制乗合ワゴン車の1日あたりの利用者数	146人	146人	145人	◎	146人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

中心市等における人材の育成 - 圏域職員の育成

事業名	市村職員合同研修事業				
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で開催することで、職員の資質向上を図るとともに圏域内職員の交流を促進する。			関係市村	
期待される効果	職員の資質、能力の向上を図るとともに、職員間のネットワーク構築と連携強化が図られる。				
実施状況(R7.9末時点)	<p>【実施状況】</p> <p>①接遇力向上・電話応対研修 [R7.4.11実施] ・対象：新採用職員、希望者（35名：燕市32名、弥彦村3名） ・講師：NTTネクシア 田辺紀子 氏</p> <p>②行政実務のためのデータ分析研修 [R7.6.20実施] ・対象：主事～係長級職員（23名：燕市20名、弥彦村3名） ・講師：データ&ストーリー合同会社 柏木吉基 氏</p> <p>③実務データ分析研修（フォローアップ編） [7月～10月 R7.11.21成果発表会] ・対象：主事～係長級職員（8名：燕市4名、弥彦村4名） ・講師：データ&ストーリー合同会社 柏木吉基 氏</p> <p>④メンタルヘルス研修 [R7.10.23実施] ・対象：新採用職員、副参事・係長・主査級職員、希望者 ・講師：石橋クリニック 石橋幸滋 氏</p> <p>⑤クレーム応対研修 [R7.11.6実施] ・対象：採用3年目職員、希望者 ・講師：NTTネクシア 田辺紀子 氏</p> <p>⑥公文書作成研修 [R8.1月実施予定] ・対象：採用2年目職員、希望者 ・講師：株式会社ぎょうせい 山上秀利 氏</p>				
進捗状況(反省点・改善点)	<p><input checked="" type="checkbox"/>順調 <input type="checkbox"/>概ね順調 <input type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <p>実務データ分析研修や接遇力向上研修などを中心に、計画的に合同研修を実施しており、職員の資質向上と圏域内職員の交流に寄与している。引き続き、合同研修を実施し、職員の育成に努めていく。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込(単位：千円)	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	1,596	1,596	1,596	1,596	1,596
特定財源等の名称					
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

指標	基準値(R5)	前年度実績(R6)	最新値(R7.9月末)	評価	目標値(R11)
行政サービスの満足度	68.8%	70.5%	70.5%	○	69.0%
合同研修メニュー数	6メニュー	6メニュー	6メニュー	◎	6メニュー

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

別紙「燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン」連携事業進捗状況調査票

○圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

中心市等における人材の育成 - 圏域職員の育成

事業名	外部人材活用事業				
事業内容	圏域内における生活機能の強化及び結びつきやネットワークの強化を推進するため、必要に応じ高度で専門的な知識等を有する人材を圏域外から招へいすることで、定住自立圏構想の取組の成果を高める。			関係市村	
期待される効果	専門的な知識等を有する人材を積極的に活用することにより、地域の活性化が図られる。				
実施状況 (R7.9月末時点)	<p>【燕市】 平成23年度から、専門分野において実践経験を有する外部人材を任期を定めて活用しながら、高度かつ専門化する行政課題に対応している。 令和7年度については、市内企業の人材確保等を推進する外部人材を新たに活用している。 ※令和7年度の活用分野 危機管理、広報企画、情報政策、産業誘致、 企業の人材確保、職員採用の各分野 <u>計8名</u></p> <p>【弥彦村】 令和元年度から防災分野、令和3年度からは農業分野、図書館業務において、専門的な経験を有する人材を任期を定めて採用している。長年の知識や経験を活かし、専門的な業務に従事している。 ※令和7年度の活用分野 図書館業務の分野 <u>計1名</u></p>				
進捗状況 (反省点・改善点)	<p><input checked="" type="checkbox"/>順調 <input type="checkbox"/>概ね順調 <input type="checkbox"/>やや遅れている <input type="checkbox"/>大幅に遅れている</p> <p>高度かつ専門化する行政課題に適切に対応するため、今後も引き続き、民間企業や他の地方公共団体等で培った専門的知識や経験を有する人材の受入れを継続する。</p>				
実施スケジュール	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
事業費見込 (単位:千円)	(66,000)	(66,000)	(66,000)	(66,000)	(66,000)
特定財源等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
一般財源	(66,000)	(66,000)	(66,000)	(66,000)	(66,000)
特定財源等の名称	※1 「外部人材活用事業」における職員人件費等は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きしています。				
役割分担の考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標 (KPI)】

指標	基準値 (R5)	前年度実績 (R6)	最新値 (R7.9月末)	評価	目標値 (R11)
外部人材職員の招へい数 (期間中の累計)	12人	13人	9人	○	12人

※達成状況は3段階で評価 (◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)